

皆様には日常生活において幾度か、手を合わせて拝む、祈る機会があると思います。例えば自宅の仏壇やお墓の前はもちろんのこと、菩提寺の本尊様の前や、観光などで参拝した寺院でも、必ず手を合わせてお参りをすると思います。そんな時、拝みながら何かをお唱えしたいと思うことはないでしょうか。般若心経をお唱えする方もいることでしょう。般若心経は日本仏教においてほとんどの宗派において読誦される大切な経です。または「南無大師遍照金剛」と真言宗の開祖である空海上人の御宝号をお唱えする方もいることでしょう。真言宗徒にとつて非常に大事なことです。それらに加えて、是非とも皆様にお唱え頂きたい「光明真言」という真言がございます。では光明真言とはいったいどのようなものなのでしょうか。

真言とは

真言宗という宗名からも分かるように、真言宗では「真言」というものを非常に大事に致します。真言とは仏様の力が込められた真実の言葉であり、様々な場面でお唱え致します。

光明真言とは

真言には沢山の種類があります。諸々の仏様によってもそれぞれ違った真言があります。阿弥陀様には阿弥陀様の、お不動様にはお不動様の真言があるということです。それを覚えるに越したことはないのですが、なかなか大変なことです。そこで光明真言です。この真言は、あらゆる全ての仏様に通ずるオールマイティな真言なのです。

ご利益について

光明真言の御利益は無量無辺、限りがありません。よって何時如何なる場面でお唱えしても良いのです。その中で敢えて挙げるならば罪障消滅（罪、障りを滅する）がご利益の筆頭です。また亡者を供養する最も適した真言でもあります。

平安後期から鎌倉時代初期に活躍した僧侶で、明恵上人という方がおります。生涯にわたり釈迦様を敬慕し、一生不犯を貫いた清僧です。この方は非常に光明真言を大事にしており、真言の力によって死後、思う浄土へ往生出来ると仰っています。現在まで連綿と光明真言が大切にされているのは、この明恵上人の功績が非常に大きいと言われております。

まとめ